令和３（2021）年度業務実績等報告について

○地方独立行政法人制度における評価の仕組み

・地方独立行政法人法第78条の2に基づき、各事業年度の業務実績及びその自己評価結果を明らかにした報告書を評価委員会へ提出
・評価委員会は、業務実績等報告書等に基づき、評価**（年度評価）**を実施

※4年度目終了時には、中期目標期間終了時に見込まれる実績の評価**（見込評価）**を実施（第三期中期目標期間は令和3年度に実施済み）
※中期目標期間終了時には、中期目標期間中の実績の評価**（期間実績評価）**を実施（第三期中期目標期間は令和5年度に実施予定）

＜自己評価の状況＞

	計画数	自己評価				
		S	A	B	C	D
東京都立大学	54	3 (6%)	10 (19%)	41 (76%)	0 (0%)	0 (0%)
東京都立産業技術大学院大学	21	2 (10%)	13 (62%)	6 (29%)	0 (0%)	0 (0%)
東京都立産業技術高等専門学校	23	2 (9%)	11 (48%)	10 (43%)	0 (0%)	0 (0%)
法人共通（組織運営基盤）	33	1 (3%)	8 (24%)	23 (70%)	1 (3%)	0 (0%)
合　計	131	8 (6%)	42 (32%)	80 (61%)	1 (1%)	0 (0%)

業務実績等報告における自己評価

年度計画・中期計画の実施状況を検証し、S・A・B・C・Dの5段階で自己評価する等、業務実績等報告書を作成

評価	評語
S	計画を当初予定より大幅に上回って実施している。
A	計画を当初予定より上回って実施している。
B	計画を当初予定どおり実施している。
C	計画の実施状況が当初予定を下回っている。
D	計画の実施状況が当初予定を大幅に下回っている。

＜令和３年度業務実績における自己評価Ｓの項目＞

■都立大
【1-03】コロナ禍における現場体験型インターンシップの実施、数理・データサイエンス副専攻の開設準備
【1-22】オープンユニバーシティにおけるオンライン専用講座や高大連携による高校生向け講座の開設
【1-40-2】プレミアム・カレッジにおける本科志願者確保、最長4年間学び続けられる学びの場の充実

■産技大
【2-04】文部科学省「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」を活用した教育環境の整備、技能教育のDX化
【2-11】積極的な情報発信による効果的な広報、高度専門職業人の資質を有する志願者確保

■産技高専
【3-01】職業教育プログラムによるものづくり技術者の育成、修了生輩出
（情報セキュリティ技術者及び航空技術者育成プログラム）
【3-15】特別推薦入試制度の実施、4名の優秀な学生の受入を決定

■法人共通
【4-13】働き方改革推進体制の構築及び働き方改革推進計画の策定

＜業務実績評価の流れ＞

令和３年度の主な実績（都立大）

TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY
東京都立大学

■教育に関する取組　～豊かな教養・高度な専門性と社会への対応能力を備えた国際的にも通用する人材の育成を目指し、教育改革を推進しました～

教育内容・成果

■教育研究等の質の向上

・超高齢社会における複雑な問題を俯瞰的に捉え、人生 100 年時代における豊かな長寿生活の実現に寄与できる人材育成を目指し、**大学院分野横断プログラム「超高齢社会学際プログラム」を新規開講**しました。

・デジタル技術を生かした教育ツールをもとに、教育現場での効果的な活用・検証をするため、健康福祉学部看護学科において、救命救急VRを正課授業に取り入れる試みを行いました。

【救命救急VRを用いた授業の様子】

令和3年度S項目

・実習先に関する事前調査やグループワーク等の事前学習（計３回）、夏季実習（５～10日間）及び成果報告を行う**現場体験型インターンシップ**について、感染症対策、履修制限、オンライン対応等により、**コロナ禍においても実習を伴う有意義な授業を開講**しました。

・学業成績優秀な大学院進学希望の学部生への大学院授業科目の早期履修制度について、経営学研究科、理学研究科、人間健康科学研究科に加え、新たにシステムデザイン研究科にも導入しました。

・**学生が自身の所属に関わらず、多様な科目を文理の枠を超えて主体的に履修する仕組み**について、令和５（2023）年度の全学共通教育プログラムへの導入に向けた検討を進めました。

・データサイエンス・AIの技術の本質を理解し、これらの技術を利用したサービスやシステムを活用できる人材を育成するため、**令和４（2022）年度から数理・データサイエンス副専攻コースを開設**する準備を整えました。

教育の実施体制

■教育改革の推進、教育の質の改善

文部科学省**「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」**及び国立研究開発法人科学技術振興機構**「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の実施**により、支援金及び研究奨励費の支給、キャリアパス形成を支援するセミナーの開催等、博士後期課程の研究力強化及びキャリアパス支援の拡充を図りました。

■学修環境の整備・拡充

都立大の基幹システムである教育研究用情報システムについて、令和４（2022）年度の更新に向けた準備を行いました。また、国内外の教育機関や研究機関における無線LANの相互利用を実現する**eduroamの利用環境を整備**しました。

入学者選抜

■大学入学者選抜改革への対応、質の高い学生の確保

・令和４（2022）年度入試について、新たな入試制度に加え、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた制度変更及び実施方法等に基づき、入学者選抜要項及び多様な選抜の各募集要項を作成し、公表しました。

・新型コロナウイルス感染症対策として、参集型の大学説明会は全て中止し、**WEB大学説明会を開催**（６月30日～９月30日）するとともに、オンラインによる進学ガイダンスへの参加や個別相談会を企画・実施しました。
<WEB大学説明会総閲覧数：82,824回>

■高大連携等の推進

オンラインによる個別相談会、特別講演及び先端研究フォーラム等を実施し、都立大の教育・研究内容に対する高校生の理解を促進させました。

学生支援

■学生支援の充実

・経済的に困窮する学生に対し、国の高等教育の修学支援新制度による奨学金の給付と授業料減免制度に加え、法人の授業料減免制度を通じて、より充実した経済支援を実施しました。

・課外活動での事故を受け、**リスク管理や緊急時の対応に関するレクチャー**を学生に対して行うとともに、**専門家による組織マネジメントや安全な部活動運営に関する講習会**を実施しました。

・課外活動の活性化や大学の知名度・ブランド力の向上を目的とした、提案公募による課外活動支援制度により、９団体を支援しました。支援団体のうち、**２団体がテレビ局主催の人力飛行機のコンテストで優勝**するなど、コロナ禍の制限のある活動の中でも、顕著な成果を挙げました。

【日本テレビ系列で放送された「鳥人間コンテスト2021」優勝チーム】

・障がいに対する理解促進や支援スタッフのスキルの向上のため、手話講座やバリアフリー講習会等をコロナ禍の状況を考慮した方式で開催するとともに、支援を要する学生に対して、オンライン面談や遠隔での文字通訳を行いました。

・キャリア支援及び就職支援について、オンラインによる講座やガイダンスを開催するとともに、録画型面接対策やオンライン面接用のブース貸出を行いました。

・健康福祉学部とボランティアセンターの共同企画として、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のボランティアをテーマに、そこに参加した学生等の想いや実態についてお話を伺う「東京2020大会ボランティア座談会」を開催しました。

【東京2020大会ボランティア座談会の様子】

令和３年度の主な実績（都立大）

TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY 東京都立大学

■研究に関する取組 ～学術研究の動向や社会ニーズの変化に迅速・柔軟に対応し、世界をリードする重点的な研究を支援・強化しました～

研究

■組織的かつ戦略的な研究支援

教員の研究領域を踏まえた外部資金情報の効率的な周知、申請書の作成支援及びプレゼン資料の作成支援、面接支援等を実施しました。

■研究成果の発信 令和3年度S項目

プレゼンスの更なる向上を図るため、研究成果の積極的な情報発信を行いました。

【主な取組】

・海外科学ニュースサイト「EurekAlert！」で優秀な研究内容を発信

・オープンユニバーシティにおいて、最先端の研究成果を発信するため、研究センターシリーズ「科学が開く未来への扉」や都立大教員の専門的かつユニークな研究を紹介する「プレミアム講座」を開講

・ユニークかつ興味深いテーマで、様々な研究者等が登壇する**「オンラインスペシャル講座」**及び**高校生を対象とした「高校生のための大学授業体験シリーズ」を新たに開始**　**＜高校生の受講申込者数：延べ650名（両講座合計）＞**

■将来を担う若手研究者支援、トップ研究者の招へい

若手研究者を中心に、戦略的に研究費を配分することで、将来を担う研究者の支援・育成を積極的に推進しました。また、トップ研究者の招へいに向け、関係制度の構築や施設改修・研究機器整備等を実施しました。

■先端研究環境の整備・先端的課題の研究

・南大沢キャンパス及び日野キャンパスに整備した**ローカル5G環境を活用した研究を推進**しました。

・日野キャンパスに**電波暗室を整備**し、研究での利用を開始しました。

・**ローカル５G環境を民間企業等に提供する「実証フィールド提供事業」を実施**し、学生及び教職員を対象とした実証実験を行いました。

【電波暗室】

【ローカル5G環境実証フィールド提供事業】

■社会貢献に関する取組 ～専門的知見や教育資産を都政・都民へ発信・還元しました～

社会貢献・都連携

■東京都等との連携、研究成果の還元 対応報告事項 評価結果反映事項

東京都等と連携した共同研究やプロジェクト組成のため、行政ニーズと研究シーズのマッチング機能の強化に取り組みました。また、都立大発ベンチャーの更なる創出に向けて新たな支援策を実施しました。

【主な取組】

・**東京都医学総合研究所との感染症対策に資する共同研究について調整**

・**東京都政策企画局と国際金融に関する共同研究を２件開始**

・**東京都環境公社と包括連携協定を締結、共同研究に向けて意見交換を実施**

・都の「東京サステナブル・ファイナンス・ウィーク」において、金融業界の立場から気候変動リスクに関するシンポジウムを開催

・大学発ベンチャー支援として、「起業キックオフイベント」講座を新規開講

・２大学１高専の研究者ガイド及び連携事業ガイドを作成し、都の各局に周知

■東京都立大学プレミアム・カレッジの運営 令和3年度S項目

50歳以上のシニアを対象とした「学び」と「新たな交流の場」である**東京都立大学プレミアム・カレッジを継続開講**しました。

【主な取組】

・授業を体験できるオンラインイベントの開催　**＜総視聴回数：2,101回＞**

・学長による東京都メディアセンターでのオンライン講演の実施

・最長４年間学び続けられる場の提供
（本科：１年目、専攻科：２年目、研究生コース：３～４年目）

・「首都・東京をフィールドに学ぶ」をテーマに、更なる科目を新設・拡充

＜本科選考（定員50名程度）：志願者数205名、志願倍率4.1倍＞

【フィールドワークの様子（JAXA）】

■グローバル化に関する取組 ～国際社会で活躍できる人材を育成するため、国際通用性のある教育研究環境の整備を進めました～

グローバル化

■グローバル化推進、学生の海外派遣及び外国人留学生の受入れの充実

・コロナ禍で海外派遣が難しい状況下においても、学生のグローバルな関心や海外への挑戦意欲を喚起するとともに、国際社会で活躍できる能力や気概を持った人材を育成するため、**世界を舞台に各界の一線級で活躍するゲストスピーカーによるオンライン講座や教員と学生を交えたトークセッションを実施**しました。

対応報告事項 評価結果反映事項

・入国制限等により、一部の国際交流を停止せざるを得ない状況の中、学生の海外派遣や留学生の受入れ拡大・充実に向け、オンラインも活用し逐次対応しました。

【主な取組】

・令和４（2022）年２月以降、計９名の中長期海外派遣を実施

・計51名の学生に対して、**オンラインによる短期海外派遣プログラムを実施**

・大学院の外国人留学生を対象とした**「東京グローバルパートナー奨学金プログラム」を新設**（令和４（2022）年10月より受入開始予定）

・短期受入プログラム「日本語・日本事情短期集中コース」をオンライン実施

令和３年度の主な実績（産技大）

東京都立
産業技術大学院大学

■教育に関する取組 ～産業の活性化に貢献する高度専門職業人の育成に向け、先進的教育手法を更に充実させました～

教育内容・成果

■教育内容

起業・創業・事業承継などを通して新しい産業を創り出す高度専門職業人である「事業イノベーター」を含め、研究科再編で目標とする産業界においてイノベーションを担う人材を輩出するため、**再編した研究科の完成年度として、産業技術専攻全体のカリキュラムを着実に実施**しました。

■教育の評価・改善 対応報告事項

・令和２（2020）年度に設置した内部質保証室など、各PDCAサイクル実施組織の役割等を改めて整理・要綱化し、**内部質保証に関する責任体制及び手続きを明確化**しました。

・教育の質の向上のためのPDCAサイクルを回した結果、授業評価アンケートで高評価を維持しました。
＜全授業評価平均：4.35（５段階評価）＞

【事業設計に関するPBLテーマ例】

教育の実施体制

■教育環境の整備 令和3年度S項目

文部科学省補助事業**「大学改革推進等補助金（デジタル活用教育高度化事業）『デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン』」**により、教育環境のDX化に取り組みました。

【主な取組】

・学内からの参加者と学外からのオンライン参加者の円滑なグループワーク等を可能とするコラボレーションツールを導入

・５大学１高専による**技能教育のためのデジタルコンテンツ（映像、 デジタルテキスト等）の作成、共通プラットフォームにおけるデータベース化により連携校等が利用可能な試行体制を構築**

・本事業の成果発表の一環として、教育DXに関する公開FDフォーラムを開催

【教室の様子】

【FDフォーラム】

■入学者選抜に関する取組 ～高度専門職業人の資質を有する学生を確保しました～

入学者選抜

■志願者獲得に向けた効果的な広報活動の展開 令和3年度S項目

積極的な情報発信により、令和４（2022）年度４月入学における**産業技術専攻全体の志願倍率は1.63倍**に達し、コロナ禍でも十分な定員を確保しました。

【主な取組】

・ホームページやSNSを通じた積極的な広報

・**新学長による大学院及び研究科紹介動画、コース紹介動画、教員紹介動画等、新たに８本の動画コンテンツを公開**

・大学院説明会や入試出願に関し、ターゲットを絞ったPRを実施するとともに、オンラインによる大学院説明会を実施
＜大学院説明会参加者（12回開催）：379名＞

【大学院紹介動画】

【コース紹介動画】

■研究に関する取組 ～産業振興に資する開発型研究を推進しました～

研究

■教育研究成果の発信、教学IR体制の構築

AIIT高度専門職人材教育研究センターにおいて、**志願者についての既存データの分析を行うなどIRを推進**するとともに、「高度専門職人材とIRの将来」をテーマにシンポジウムを開催しました。

■開発型研究の推進

・研究分野の深化及び研究成果の社会への還元を目的として**２つの研究所を新設し、合計９つの研究所を運営**しました。

・高度専門職業人育成のための研究や遠隔学習でのIoT技術の活用等最新の技術動向に即したテーマの研究に対して傾斜的研究費を配分し、産業振興に資する研究を推進しました。

■社会貢献に関する取組 ～社会のﾆｰｽﾞに応える学修環境を整備しました～

社会貢献・都連携

■社会人リカレント教育の充実

・少子高齢化時代の健康寿命分野の価値創造と問題解決のため、**履修証明プログラム「健康寿命デザイン講座」を開講**しました。

・起業に挑戦するシニア層の学びの場である**AIITシニアスタートアッププログラムについて、文部科学省の職業実践力育成プログラム（BP）として実施**しました。

【健康寿命デザイン講座】

■都や区市町村等との連携強化

・都・区市町村等との連携講座や自治体職員等向けの研修の開催、島しょ地域へのセキュリティ及びリーダーシップに関する研修等を実施しました。

・**「東京都地域防災計画のIoD(Internet of Documents)化による防災力向上」事業が、東京都「大学研究者による事業提案制度（大学提案）」に採択**されました。

■グローバル化に関する取組 ～アジア諸国等の大学との連携を強化しました～

グローバル化

■グローバル人材を育成する教育の推進

・デジタル技術を活用したSDGsプロジェクトをテーマとし、オンラインを活用し、アジアやアフリカの現地大学・政府関係機関等と協働で実施する**グローバルPBLを実施**しました。

・学生がグローバル人材として獲得すべき能力指標について、令和３（2021）年度は90.3%の修了生が基準を達成しました。

■アジア諸国等の大学等との連携

アジア高度専門職人材育成ネットワーク（APEN）を活用した国際交流やBINUS 大学（インドネシア）と共催によるオンライン国際シンポジウム等を開催するなど、**アジア諸国等の大学等との連携を強化**しました。

【APEN理事会の様子】

令和３年度の主な実績（産技高専）

Tokyo Metropolitan College of Industrial Technology
東京都立産業技術高等専門学校

■教育に関する取組（教育の内容、学生支援）　～産業界のニーズに応える新たなカリキュラムを展開しました～

教育内容

■新しいものづくりを牽引する実践的技術者の育成

品川キャンパスは本科教育新コースのシラバス作成や設備・備品の準備等を行い、荒川キャンパスは未来工学教育プログラムの授業の実施や、他機関と連携したリカレント教育のプレ講座、共同研究を行いました。

■新たな職業教育プログラムの実施　令和3年度S項目

産業界や社会のニーズに応える**２つの職業教育プログラムを実施**し、**ものづくり技術者の育成に向けた教育を推進**しました。

【主な取組】

・情報セキュリティ技術者育成プログラムで**本科12名と、専攻科１名の修了生輩出**、情報セキュリティ関連企業へ就職、専攻科や大学・大学院へ進学　**＜履修生40名＞**

・航空技術者育成プログラムで**８名の修了生を輩出**、航空関連企業へ就職、専攻科や大学へ進学　**＜履修生31名＞**

・社会人向けの情報セキュリティ教育をオンラインで実施

教育体制・学生支援

■課題発見・解決型実践的教育の展開

感染対策やオンラインの活用によりアクティブ・ラーニングやデザイン思考を取り入れた**課題発見・解決型の実践的教育を展開**しました。

【高専ロボコン部】

■多様な課外活動の支援・経済的支援の拡充

コロナ禍を踏まえ、学生の状況に応じた柔軟な学生相談を実施しました。

【主な取組】

・**電話やオンラインによる学生相談**の実施

・授業料減免や奨学金などに関する情報発信

・クラブ活動指導員による指導体制の充実

【ロボット研究同好会】

＜高専ロボコン2021関東甲信越地区大会で特別賞、柔道部団体戦・個人戦ともに全国大会出場、鳥人間コンテスト第５位等＞

■教育に関する取組（入学者選抜）

入学者選抜

■多様な学生の確保　令和3年度S項目

意欲ある志願者確保のため、**特別推薦入試制度やホームページやSNSを活用した積極的な広報**を実施しました。

【主な取組】

・品川区、荒川区との協定に基づき、**特別推薦入試制度による４名（各キャンパス２名）の学生受入れ**

・公式ホームページの構成の改修によるアクセシビリティの向上、在学生・卒業生・企業のインタビューの掲載、**法人ポータルサイト内への「高専広報ポータル」の新設による校内の広報協力体制の強化**

■研究に関する取組　～ものづくりスペシャリストの育成に資する研究を推進しました～

研究

■研究活動の活性化、若手教員への支援　対応報告事項　評価結果反映事項

・**特別研究期間制度の取得を促進するため、令和５（2023）年度以降の利用者の応募条件を緩和**しました。

・若手教員を中心に科研費獲得のための応募書類添削や個別面談を実施し、**令和３（2022）年度採択件数は令和2（2021）年度と並ぶ過去最高タイ（７件）**となりました。

■都立大・産技大との共同研究

「大学・高専連携事業基金」事業「第三期共同研究～専攻科Co-Labo.」において４件の共同研究を実施しました。また、都立大健康福祉学部・人間健康科学研究科との共同研究を開始しました。

■グローバル化に関する取組　～世界で活躍できる技術者を育成しました～

グローバル化

■国際的に活躍できる技術者の育成

２つの海外体験プログラムをコロナ禍でも実施できるよう対面とオンラインを組み合わせて実施しました。

【主な取組】

・グローバル・コミュニケーション・プログラム（GCP）は、都立大生のリーダー２名とチームを組み、シンガポールとのセッションやラオス・フィリピンへのインタビューをオンライン実施　**＜参加者16名＞**

【GCPの様子】

・インターナショナル・エデューション・プログラム（IEP）は、デザインシンキングを取り入れ、課題解決型ディスカッションを行ったことによりGCPへの接続を強化　**＜参加者38名＞**

■社会貢献に関する取組　～地域と連携して、ものづくり人材を育成しました～

社会貢献

■若年層の情報セキュリティ技術者教育

感染対策を行い、中学生向けの体験型情報セキュリティイベント**「サイバーセキュリティTOKYO for Junior」（２日間）と「ICT　基礎Lab. for Junior」（計３回）を開催**しました。

【サイバーセキュリティTOKYO for Juniorの様子】

■地域貢献等

感染対策を行い、中小企業の技術者を対象とした「若手技術者支援のための講座」（６講座）やオープンカレッジ講座（品川10講座、荒川17講座）、オンラインでの**サイバーセキュリティセミナー**を実施しました。

令和３年度の主な実績（法人共通（組織運営基盤））

東京都公立大学法人
Tokyo Metropolitan Public University Corporation

■ 組織運営の改善に関する取組　～法人の更なる飛躍の実現に向けた取組を推進しました～

戦略的な法人運営

■組織体制の強化

都連携体制の充実に向けて、都へのニーズ調査や協定締結等の取組を進めました。

【主な取組】

- **東京都環境公社と新たに包括連携協定を締結**
- 東京都医学総合研究所との共同研究実施に向けた調整

■法人及び各大学・高専の運営体制強化

経営・教学のトップ層に加え、**若手主任級職員等も参画**し、第四期中期計画策定に向けた検討を行いました。また、経営審議会において、法人が目指す方向性の大枠等を整理した「第四期中期計画策定における骨太の考え方」を決定しました。

■2大学1高専の連携の推進

令和２（2020）年度に策定した「新たな連携の在り方」に基づき、より効率的・効果的な大学高専連携の推進に向け、教員・事務担当者との意見交換を行いました。

環境改善

■持続可能な社会の実現に向けた取組の実施

都のシンクタンクとしての機能を発揮するため、グローバル社会における共通課題である持続可能性に関する調査研究機能の強化を図るとともに、法人としてのカーボンニュートラル実行計画策定等に向け、方向性の整理などを進めました。

【主な取組】

- **国公立大学初の気候非常事態宣言を発出**
- 調査研究機能強化に向けた２つの研究に着手
- **TMUサステナブル研究推進機構を設置**
- **カーボンニュートラル実行計画策定や環境報告書作成の方針整理、実施体制の検討**

【TMUサステナブル研究推進機構】

【気候非常事態宣言】

■ 財務内容の改善、自己点検・評価及び情報の提供に関する取組

卒業生・同窓会等

■寄附金獲得額の拡大

「東京都立大学新型コロナウイルス緊急支援基金」約5百万円や遺贈寄附約３千万円等の寄附を集め、学生支援等に充当しました。

■同窓会等との連携を強化

- **都立大が一般社団法人東京都立大学同窓会と包括連携協定を締結**しました。また、今後の連携・協力に向け、定期的に協議を行いました。
- 愛校心の醸成を図るため、各大学・高専においてホームカミングデーや同窓会を開催しました。

【同窓会との
包括連携協定締結の様子】

戦略的な情報発信

■法人、各学校ごとの戦略的な情報発信

各大学・高専の認知度及びプレゼンスを一層高めるため、各種広報媒体やソーシャルメディアを活用した広報を展開しました。

【主な取組】

- 法　人：各学校と連携を取りながらYouTube等で情報を発信
- 都立大：**WEBマガジンを本格稼働**、**公式ホームページ及び大学案内のデザインをリニューアル**し公開準備を完了、各界の著名なゲストスピーカーを招いて実施した講座の実施報告等をニューズレターに掲載し海外へ発信
- 産技大：様々な媒体で産技大の教育成果を発信、文科省補助事業『デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン』に採択されたことによるPR
- 高　専：教職員からスムーズに情報提供を受けるため「高専広報ポータル」を新設、公式ホームページの構成リニューアルによるアクセシビリティの向上

■ 事務の効率化・合理化、その他業務運営に関する取組

業務改善・施設等整備

■効率的な業務運営の推進　令和3年度S項目　対応報告事項

働き方改革の推進や、ワクチン接種会場の機動的な運営を行いました。

【主な取組】

- 全職員を対象に行った意見聴取の結果を踏まえた**働き方改革推進計画を策定**、法人全体で業務改善事例を共有
- **都と連携したワクチンの大規模接種会場及び専門組織の設置**による学生や教職員等の接種促進

■都立大のキャンパス整備

都立大南大沢キャンパスで事務室再配置計画を作成し、老朽化に対応する工事と連携しながら**効率的な動線の確保、情報管理面の向上等、適切な事務室再配置を実現**しました。また、日野キャンパスの新棟建設にあたり、近隣住民や大学運営を考慮しながら工事を進めました。

法令遵守・安全管理

■研究費不正使用の防止

研究費不正防止に関するコンプライアンスカードの教職員への配布や、研究活動に関わる研究者、大学院生、学部生を対象とした研修の実施、学術論文剽窃検知ツールの利用促進等により、研究不正行為や研究費不正使用の防止の取組を推進しました。

■情報セキュリティ対策の強化

ウェブサイトのサーバー攻撃に対する体制強化や、事故発生時の連絡体制の周知、情報セキュリティ及び個人情報保護に関する研修の実施により、事故の防止や事故発生時の対応強化に取り組みました。

■危険物取扱いルールの周知や防災体制の強化　令和3年度C項目

都立大南大沢キャンパスで発生した火災を受け、安全対策検討会による「危険物に関する安全対策」の策定や自衛消防組織や防火・防災管理委員会の体制等の見直しを行いました。